

令和5年10月11日
国 税 庁

プロトタイプ版からの変更点【令和5年分 年調ソフト】

令和5年10月11日に公開しました令和5年分 年調ソフトについて、令和5年7月28日に公開しているプロトタイプ版からの変更点は、以下のとおりです。

- 1 状態「16歳未満の扶養親族かつ退職手当等を有する扶養親族」について、「所得の見積額が48万円超かつ退職所得を除いた合計所得が48万円以下かつ16歳未満」に該当する場合を、障害者控除の対象から除外
- 2 「住宅借入金等特別控除申告書の作成」の「令和4年（特別特例取得※に該当する場合を除く）」選択時の仕様について、年末残高（申告書 XML xml005_J00020）が設定されないケースが生じる不具合を修正
- 3 「住宅借入金等特別控除申告書の作成」の「平成31～令和3年又は、令和4年で特別特例取得※に該当する場合」選択時の仕様について、居住開始年月日を選択する際に、2022年を選択できない不具合を修正
- 4 前年度の年調ソフトで「配偶者の有無」に「なし（令和4年中の異動あり）」と登録されていた場合において、令和5年度の年調ソフトで前年分のデータを移行等した場合に、値を引き継がないように修正
- 5 「年末調整 控除申告書の作成」画面で「新規作成」ボタンを押下した際の動作として、「①基本情報入力」で入力された値を除く控除申告書データを削除するよう修正

6 マイナポータル連携機能について、プロトタイプ版では使用できないよう制限していたところ、本制限を解除

7 利用規約を更新